

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公表番号】特表2004-518772(P2004-518772A)

【公表日】平成16年6月24日(2004.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-024

【出願番号】特願2002-519575(P2002-519575)

【国際特許分類】

C 0 9 D 175/04 (2006.01)

B 0 5 D 7/14 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

C 0 9 D 133/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 175/04

B 0 5 D 7/14 L

B 0 5 D 7/24 3 0 2 T

C 0 9 D 133/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月9日(2008.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ポリイソシアネート化合物、ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーおよび分岐状不揮発性一価アルコールを含み、該ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーがアクリルポリオールであるところのコーティング組成物。

【請求項 2】 希釈剤をさらに含む、請求項 1 記載のコーティング組成物。

【請求項 3】 一価アルコールが少なくとも平均 12 個の炭素を有する、請求項 1 記載のコーティング組成物。

【請求項 4】 一価アルコールが少なくとも平均 16 個の炭素を有する、請求項 1 記載のコーティング組成物。

【請求項 5】 一価アルコールがゲルベアルコールである、請求項 1 記載のコーティング組成物。

【請求項 6】 一価アルコールと固体アクリルポリオールとの重量比が 1 : 99 ~ 50 : 50 である、請求項 1 記載のコーティング組成物。

【請求項 7】 重量比が 5 : 95 ~ 25 : 75 である、請求項 6 記載のコーティング組成物。

【請求項 8】 ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーが 25 より高い T g を有する、請求項 1 記載のコーティング組成物。

【請求項 9】 T g が 40 より高い、請求項 8 記載のコーティング組成物。

【請求項 10】 分岐状不揮発性一価アルコールが脂肪族である、請求項 1 記載のコーティング組成物。

【請求項 11】 ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーが、分岐状不揮発性一価アルコールの存在下で製造される、請求項 1 記載のコーティング組成物。

【請求項 12】 ポリイソシアネート成分およびヒドロキシル官能性成分を含む多成分系コーティング組成物において、ヒドロキシル官能性成分が、ヒドロキシル官能性皮膜形

成性ポリマーに加えて、分岐状不揮発性一価アルコールをも含み、該ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーがアクリルポリオールであるところの多成分系コーティング組成物。

【請求項 1 3】 第三成分をさらに含み、該第三成分が希釈剤である、請求項 1 2 記載の多成分系コーティング組成物。

【請求項 1 4】 一価アルコールが少なくとも平均 1 2 個の炭素を有する、請求項 1 2 記載の多成分系コーティング組成物。

【請求項 1 5】 一価アルコールが少なくとも平均 1 6 個の炭素を有する、請求項 1 2 記載の多成分系コーティング組成物。

【請求項 1 6】 一価アルコールがゲルベアルコールである、請求項 1 2 記載の多成分系コーティング組成物。

【請求項 1 7】 一価アルコールと固体アクリルポリオールとの重量比が 1 : 9 9 ~ 5 0 : 5 0 である、請求項 1 2 記載の多成分系コーティング組成物。

【請求項 1 8】 重量比が 5 : 9 5 ~ 2 5 : 7 5 である、請求項 1 7 記載の多成分系コーティング組成物。

【請求項 1 9】 ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーが 2 5 より高い T g を有する、請求項 1 2 記載の多成分系コーティング組成物。

【請求項 2 0】 T g が 4 0 より高い、請求項 1 9 記載の多成分系コーティング組成物。

【請求項 2 1】 分岐状不揮発性一価アルコールが脂肪族である、請求項 1 2 記載の多成分系コーティング組成物。

【請求項 2 2】 ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーが、分岐状不揮発性一価アルコールの存在下で製造される、請求項 1 2 記載の多成分系コーティング組成物。

【請求項 2 3】 請求項 1 記載のコーティング組成物を自動車に施与することを含む、自動車を再上塗りする方法。

【請求項 2 4】 請求項 1 2 記載の多成分系コーティング組成物を自動車に施与することを含む、自動車を再上塗りする方法。

【請求項 2 5】 請求項 1 記載のコーティング組成物を含むクリアコート組成物。

【請求項 2 6】 請求項 1 2 記載のコーティング組成物を含むクリアコート組成物。

【請求項 2 7】 (a) ベースコート組成物を基体に施与すること、(b) 請求項 2 5 記載のクリアコート組成物をベースコートの上に施与し、そして該多層コーティングを硬化することを含む、多層コーティングの製造法。

【請求項 2 8】 (a) ベースコート組成物を、所望によりコーティングされた基体に施与すること、(b) 所望によりベースコートを硬化すること、(c) 請求項 2 6 記載のクリアコート組成物をベースコートの上に施与し、そして該多層コーティングを硬化することを含む、多層コーティングの製造法。

【請求項 2 9】 工程 (a) のベースコートを施与することの前に、基体がコーティングされる、請求項 2 7 記載の方法。

【請求項 3 0】 工程 (c) においてクリアコートを施与する前に、工程 (a) で施与されたベースコートを硬化する工程をさらに含む、請求項 2 8 記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

本発明は、ポリイソシアネート化合物、ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマー、および不揮発性分岐状一価アルコールを含み、ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーがアクリルポリオールであるところの多成分系コーティング組成物に関する。脂肪族分岐状一価アルコールが好ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、多成分系コーティング組成物にも関する。好ましくは、上記多成分系コーティング組成物は、ポリイソシアネート成分およびヒドロキシル官能性成分を含む2成分系コーティング組成物であり、ここでヒドロキシル官能性成分は、ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーに加えて、不揮発性分岐状一価アルコールをも含み、ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーがアクリルポリオールである。不揮発性分岐状一価アルコールは、ヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーと混合され、またはヒドロキシル官能性皮膜形成性ポリマーの製造中に添加され得る。